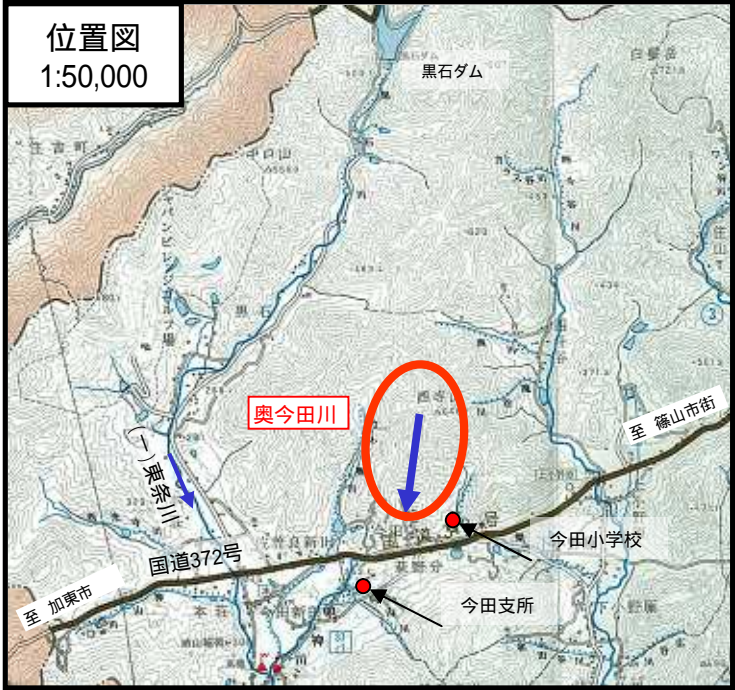


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.1億円
		通常砂防事業 おくんだ 奥今田川	篠山市今田町 こんだ 今田	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市今田町今田				H22	H25
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 2基 (H = 11.5m, L = 80.0m) (H = 7.5m, L = 70.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)加古川水系明神川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、谷出口に人家が集中していることから土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約9ha(長さ400m、最大幅400m程度)に及ぶ。 ・人家78戸、国道372号(緊急輸送路:約400m)、市道(約2,300m)、集会所(避難所)				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成21年度には土砂災害警戒区域を指定予定であり、警戒避難体制を整備することにより、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・工事用道路として市道を利用し、えん堤設置位置まで寄り付くことが可能であるなど、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・保全人家が多く、また緊急輸送路(国道372号)の保全を図る必要があることから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

おくこんだがわ
奥今田川
[篠山市]



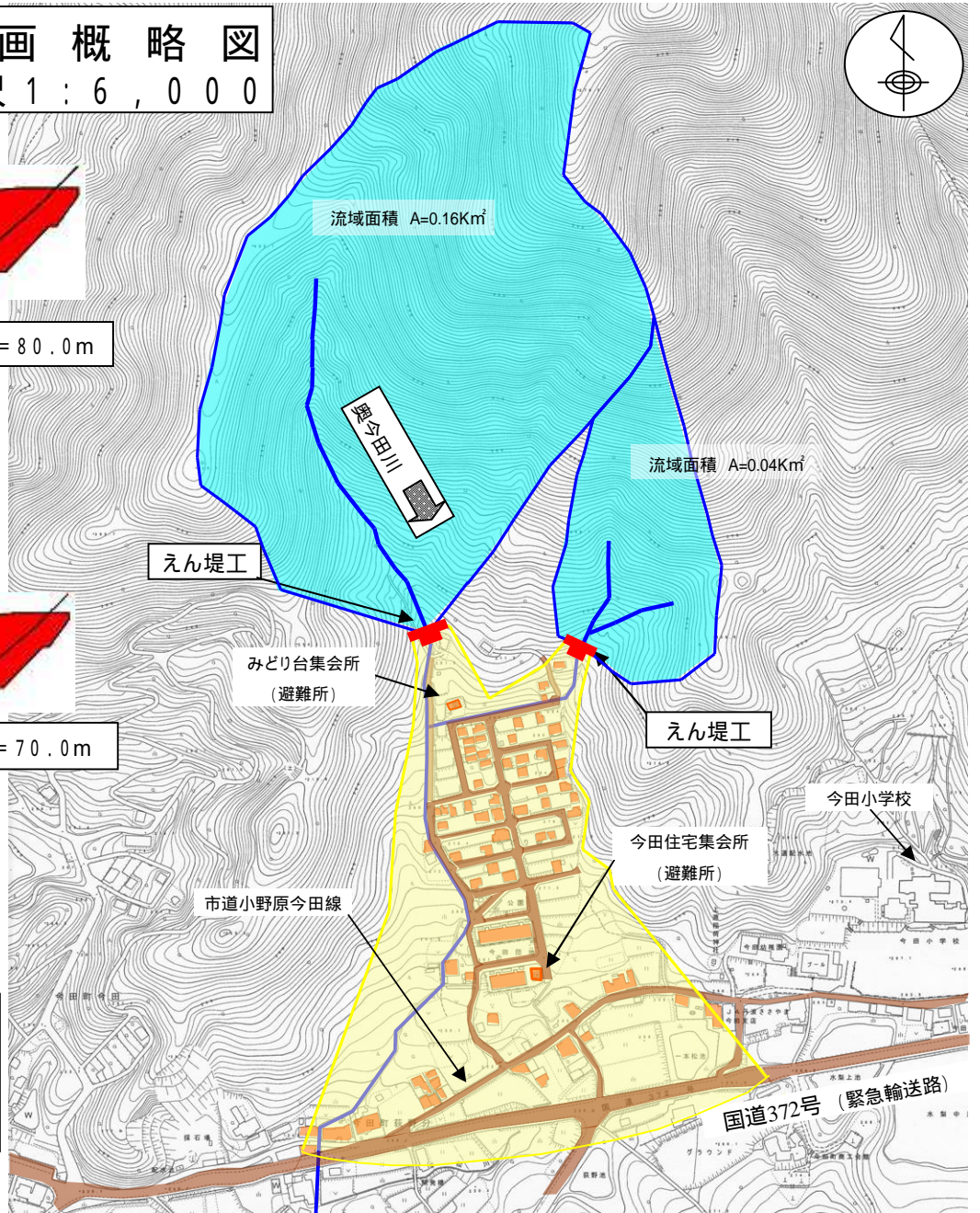
計画概略図
縮尺 1 : 6 , 0 0 0



えん堤工 H = 11.5m、L = 80.0m



えん堤工 H = 7.5m、L = 70.0m



凡例	
	事業実施箇所
	土石流危険区域
	保全人家等